

## 情報公開文書

課題名：当院における硬膜外麻酔分娩の現状と有用性の検討

### <目的>

分娩の痛みを和らげる方法の中で、最も効果的な方法が硬膜外麻酔である。痛みを和らげ産婦自身の満足度の高い分娩をサポートするとともに、心血管系・脳神経系・精神系の疾患をもつ患者様や緊急帝王切開時に挿管困難が予想される患者様には硬膜外麻酔により分娩の安全性をより高めることができる。

硬膜外麻酔分娩の有用性を検討し、麻酔分娩過疎地である東北で、今後さらに安全性の高い麻酔分娩を提供することを目的とする。

### <対象>

2019年12月より2023年12月まで当院で分娩した患者様とその新生児

### <研究期間>

2024年 倫理委員会承認後より2024年12月までの予定

### <方法>

この研究の対象となる患者様の以下のデータを使用し解析します。

研究評価項目

- ① 研究対象者背景：身長・体重・BMI・妊娠分娩歴・既往歴
- ② 自覚症状・身体所見・診察所見
- ③ 血液尿生化学検査
- ④ 分娩時データ：分娩所要時間・出血量・血圧・心拍数・SpO<sub>2</sub>・子宮収縮剤使用有無・創部の状態
- ⑤ 麻酔内容：麻酔方法・使用薬剤・麻酔時間
- ⑥ 新生児データ：出生体重・性別・アプガールスコア
- ⑦ アンケート結果

この研究のためにあらたな検体採取はおこないません。

ご提供いただいたデータを当院以外に提供することはありません。

ご協力いただいた方が特定できる情報が公開されることは一切ありません。

<研究組織>

研究代表者：東北公済病院 産科部長・母子センター長 竹中尚美

<お問い合わせ先>

本研究に関するご質問がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

また、本研究にご協力いただくことを、患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

東北公済病院 産科部長・母子センター長 竹中尚美

980-0803

宮城県仙台市青葉区国分町2丁目3-11

電話番号：022-227-2211